

授業科目名・形態	看護マネジメント論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	菅原 富貴子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

看護管理は、看護の目的を効率的、効果的、そして創造的に果たすための機能であり、経済性や社会性、人々のニーズが増すヘルスケアの中で、看護職が人々の尊厳を守り、専門職として責任を果たすために不可欠である。また、看護管理は、看護管理者だけでなく全ての看護職に求められる。授業を通し、医療組織の一員である看護職として、チーム医療における調整と連携を重視し、「安全で適切な看護」を提供するための理論や技法について学び、マネジメントに必要な基礎的知識と技術を修得する。

【到達目標】

1. 看護管理は全ての看護職に不可欠かつ重要であることが理解できる。
2. 看護マネジメントは看護・ケアの価値を基盤とする事を理解できる。
3. 看護マネジメントにおける看護職の役割を述べる事ができる。
4. 看護専門職の成長は看護管理の重要な要素であると認識する。

【授業計画・内容】

- 第1回 社会の変化と看護職の役割
- 第2回 協働：看護師の活動
- 第3回 看護マネジメントとは
- 第4回 組織で取り組む看護活動
- 第5回 看護マネジメントの実践 ①
- 第6回 看護マネジメントの実践 ②
- 第7回 看護マネジメントの実践 ③
- 第8回 看護の現場に影響を与える制度と法律：まとめ

※※進行状況に応じて多少変更する可能性あり。

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。必要に応じ個人ワークやグループワーク・レポートも取り入れる予定である。

【授業準備】

関連する科目で学んだテキスト・資料の復習と看護管理学のテキストの予習。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理学」「セーフティマネジメント論」「看護コミュニケーション」「看護過程論」等看護領域全般「感染と免疫」

【教科書等】

看護管理 看護の統合と実践① (MCメディカ出版)

【参考文献】

講義の際、適宜紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 80%、レポート・授業態度等 20%を総合評価。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

15年間の看護管理職の実務経験と、認定看護管理の知識を活かし、看護マネジメントの基本的な考え方を学ぶ機会とする。また、具体的な事例紹介を行い、医療現場における看護マネジメントの実践をイメージできる授業。更に、学生が看護観を考える機会となり、看護マネジメントの基礎的知識と技術を深める授業とする。

【学生へのメッセージ】

看護マネジメント：看護管理は、看護管理者だけが行うものではなく、ヘルスケアの中で、看護職が人々の尊厳を守り、専門職として責任を果たすために不可欠であり、全ての看護職に求められている事を理解して頂きたい。

最終学年の皆さんにとって、これまでの看護の学習を統合させた学びとなる事を期待する。